

仙台総合ビジネス公務員専門学校

令和4年度学校関係者評価委員会 報告

学校法人菅原学園 仙台総合ビジネス公務員専門学校では、本校規定に基づき、令和4年8月2日に、学校関係者評価委員会を開催いたしました。内容につきましては以下の通りご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

1. 日 時：令和4年8月2日（火）15：00～16：00
2. 場 所：仙台総合ビジネス公務員専門学校 501教室
3. 出席者

【令和4年度 学校関係者評価委員】

	芳 名	所 属 団 体	備考	出欠
1	関口 秀之	菅原章博税理士事務所	経理ビジネス科	出席
2	上田 佳子	株式会社うえだ	販売ビジネス科	出席
3	佐藤 真弓	株式会社ハナサク	フラワー科	出席
4	佐藤 真衣	株式会社ハナサク	フラワー科	出席

【学校教職員】

1	菅原 崇博	校長
2	梅川 明寛	副校長
3	熊倉 正浩	経理ビジネス科 科長
4	佐藤 僚	フラワー科 科長
5	澤田 裕樹	販売ビジネス科 科長
6	佐藤 結衣	経理ビジネス科 教諭

4. 次第

- (1) 開会
- (2) 開会挨拶 校長 菅原 崇博
- (3) 委員紹介
- (4) 議長選出 議長 上田 佳子
- (5) 令和3年度自己評価報告 澤田 裕樹
- (6) 討議・意見交換
- (7) 閉会挨拶 副校長 梅川 明寛
- (8) 閉会

5. 令和3年度自己評価結果とご意見に対する対応

自己評価報告について説明をし、各委員からの意見をいただいた内容は以下の通りです。なお、【 】は自己評価報告の項目となります。

【教育理念・目標】

理念や学校教育目標をすべての教職員が理解し、知識・技術だけではなく「自己学習能力を持つ社会人」として必要な基本様式を身につけることを目標として取り組んでいる。社会ニーズに適した実践的な職業人を育成するため、今まで以上に企業との連携を図り、最新技術等をカリキュラムに取り入れることで、教育の向上へ繋げることが必要となる。さらには、将来を見据えたうえで、社会のニーズに合わせた学科編成等の提案も今後必要となる。

【学校運営】

情報システム化等による業務の効率化を目的に、学籍管理や入出金状況等を一括で管理が可能なシステムの導入を進めている。学生向けにも、求人票の閲覧、各種手続き等の効率化を図るため、学園ポータルサイトの運用を検討。

【教育活動】

授業評価に関して、外部団体、企業に評価依頼をすることで、更なる「教育の質の向上」を図ることが可能。また、学生による授業評価や、学生自身による自身の習熟度を評価する自己評価制度を検討していく。

WEBによる先端的な研修会も増えてきており、昨年以上に参加することも増えたが、学生の多様性を尊重していくうえで、各業界の研修だけではなく、メンタルヘルス等の研修の必要性を感じる。

【学習成果】

新型コロナウイルスの影響で、WEBによる就職試験や、検定試験が増加するなかで、クラス担任が中心となり個人面談等で個々の状況を把握し、菅原学園キャリアサポートと協力しながら取り組んでいるが、更なるWEB対策が必要となる。

退学率低減に向けて、スクールカウンセラーとの個人面談の実施、非常勤講師との情報共有をし、個々の状況に応じた対応を継続していく。

【学生支援】

就職活動をおこなう上で、WEBによる説明会や面接、動画作成によるアップロードが増加してきているが、学園のキャリアサポートセンターと連携をしながら対応をできている。

日本学生支援機構による新型コロナウイルス感染症助成金に申請し、学生へ案内を繰り返しおこなったことで対象となる学生へサポートができた。

また、学園で「食に関する支援」制度を活用し、学生へQuoカードを配布することができた。

【教育環境】

新型コロナウイルス感染防止対策として、空気の循環を目的に全教室にサーキュレーターを設置。今後も感染対策として継続していく必要が求められる。

PC設備に関して、来年度中に入れ替えする予定で進めている。

宮城県が主催したシェイクアウト訓練に学科ごとに参加し、防災の心得を修得した。

【学生の受入れ募集】

「WEBサイト」、「SNS」等を利用して、タイムリーな情報発信をし、オープンキャンパスへの参加を促す。密を防ぐため、来校不要なWEBによる個別相談会やLINEによる個別トークといった「個」に対する対応を充実させる。

【財務】

職業実践専門課程の一部として学園のHP上で財政状況を公開している。

【法令等の遵守】

法令・設置基準の遵守と適正な運営を行っている。

自己評価結果はホームページ上で公開している。

【社会貢献・地域貢献】

新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動はできなかった。

検定試験会場校として、新型コロナウイルスの影響もあり、一般外部受験生の受入れを実施しておらず、今後の状況次第では外部受験者の受入れも検討。

6. 討議・意見交換

【菅原章博税理士事務所 関口様】

普段授業や学生対応等で忙しい中、研修を受ける時間は取れていますか？

そして、研修に関する費用（予算）に関しては？

<フラワー科 佐藤>

学生の為、自己啓発の為に、時間を作り、参加するようにしている。

これからも積極的に参加するようにしていき、学生指導へ活かしていく。

<経理ビジネス科 熊倉>

現在、既に各々が各業界の研修に参加はしております。WEBでの研修参加も増えてきておりますので、以前よりは参加しやすくなってきている。

費用に関しては、もちろん有料の研修もありますが、WEBによる無料で参加できる研修も現在多くなってきており、他にYouTubeといった動画配信によるもので、空いた時間に観たりすることで、時間を上手く活用している。

<副校長 梅川>

学園としても、教職員用に各分野による研修を用意しているので、積極的に先生方は参加して、学生の為へのスキルアップに利用するよう検討していく。

【株式会社ハナサク 佐藤様】

入社していただいた卒業生は技術も知識もしっかり持っていて、とても頑張っていると思います。しかし、業界柄、退職率の高い仕事でもあるのが悩み。

人材が欲しい時に、求人を出すよりも御校へ連絡した方が、知識も技術も持った卒業生を紹介していただいております、非常に助かっている。

企業へ卒業生を紹介できるというのは、卒業生を把握するような取り組みがあるのでしょうか？

<フラワー科 佐藤>

当校は、卒業生が卒業した後も近況報告を含め、顔を出しに来てくれることの多い学校です。就職したけれども、退職してしまう学生ももちろんいますが、普通であれば次の仕事を探すとなった時に、ハローワークや無料求人雑誌を利用するのが一般的ですが、当校の卒業生は、当時の担任の先生や学校を頼って来校してきます。卒業後も関係を継続していることで、企業様への人材の紹介が出来ている。

<菅原章博税理士事務所 関口様>

現在、企業は人材が足りないのが現状です。人材派遣会社へ多額の資金を支払ってまで人材を求めている中で、卒業生との関係を継続していることは今後も続けていきたい。

<副校長 梅川>

他校では、全国的に同窓会組織を運営している。業界別に卒業生と今後も関係性を密にしていき、将来的には卒業生が集まれるような場所を作って、情報交換等を出来るようにしていきたい。

【株式会社ハナサク 卒業生：佐藤様】

学生時代を思い出した時に、授業をして、アルバイトをして家に帰った時に、将来のことを一人でゆっくり考えた時に、家で携帯等で見れるようなシステムがあつたら良かったかなということが思い出される。

<フラワー科 佐藤>

当時は今と違ってスマートフォンが無かったので、インターネットを簡単に利用することが難しい時代でした。気軽に自分の興味のある仕事や会社のことを調べることが出来ませんでした。しかし、現在はスマートフォンを利用し、簡単にインターネットや SNS を利用して調べることが当たり前になっている時代ですので、学校を離れていてもフォローアップできるような学園の学生向けのシステム作りが今後の必要課題となる。

【株式会社うえだ 上田様】

昨年度の評価に比べても、評価として上がってきているところが増えてきているし、改善されていることを実感しますが、学生達による評価、学生自身が自身の習熟度を評価する自己評価制度を導入して、更なる学校運営を期待します。

<経理ビジネス科 熊倉>

学生だけでなく、教員側もしっかり自己点検・評価をし、より良い学習環境を提供できるようにしていく。

【総括】校長 菅原

たくさんの貴重な意見をいただいたものをカリキュラムに反映させ、実際に授業をするなかで、まずはコンピュータ設備等も含め、技術システムの構築が当校も含め教育機関の大きな課題ではないかと感じる。学生に適切な情報を的確に提供するうえでも、企業様に見ていただいたりしながら、より良い学習環境を作るように引き続き取り組んでいく。